

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

誌上句会 「0番線」

暮田真名・Sin 選

2024

4



題「名」 暮田真名 選	4
Sin 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	8
会員雑詠集「無人駅」	11
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 3月例句会	25
川柳吟行会「ぼ」	34
十和田たてがみ川柳会 2月句会報	31
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	24
Infomation	38～

0番線

-OKAJOKIZEROLINE-

題「名」 暮田真名 選

【佳作】

- 飽きるまで名前を呼んで獣めく
 名はないが腸のあたりにある墓標
 目ん玉を盗る鼻を盗る名札盗る
 いずれ死ぬ金魚につけておくあだ名
 名簿からサンドバッグの音がする
 家族の名を混ぜ限りなく卵とじ
 名刺がわりにしてはいけない黒羊羹
 金色のけものになるの名を捨てて
 本名は疲労骨折しちゃったの
 花の名で天下をとりに行くつもり
 ここまでは名前ここから先は 空
 名古屋の関節音なのがよかった
 本名を忘れてしまうハナミズキ
 「のりこさん」「はい」手をあげる桜の木
 わたしですどら焼きは名刺の換わり
 名をつけると何か生れる気がするの
- 愛媛県 吉原美佐
 愛媛県 大西 進
 秋田県 田久保重蘭
 愛媛県 郷田みや
 佐賀県 真島 涼
 愛知県 青砥和子
 愛媛県 吉松澄子
 秋田県 佐藤春子
 青森県 守田啓子
 愛媛県 吉原美佐
 青森県 笹田かなえ
 愛媛県 吉松澄子
 佐賀県 真島 芽
 青森県 守田啓子
 滋賀県 中島順子
 奈良県 ひとり静

あの頃は名詞をさがす猿だった

名詞から固有名詞になる水面

春ららら名前忘れてしまったわ

じいちゃんは大なり小なりジェネリック

【秀逸】

名と性の隙間の街の話です

前世での名前何かな雪の朝

名月がごろりウサギの冷蔵庫

【特選】

満月を三等分にする名前

- 佐賀県 嵯峨山登
 佐賀県 真島久美子
 青森県 滋野さち
 北海道 河野潤々
 徳島県 徳長 怜
 青森県 笹田かなえ
 鳥取県 斉尾くにこ
 奈良県 ひとり静

特選、月は半分に欠けることはあっても三等分はできない。この名前には魔法のような響きがあるはずだ。
秀逸1、月にいるといわれている

選 評

うさぎの冷蔵庫のなかに月。ねじれた入れ子構造。
秀逸2、前世||過去のことを知ってたがっているはずなのに、「何かな」という問いかけは未来への予

暮田真名

感にときめいているかのよう。
秀逸3、はじめ「性」は「姓」のつもりでとったが、「性」のまま読んでもジェンダー規範への批判があってもおもしろい。

0 番線

-OKAJOKIZEROLINE-

題「名」 Sin 選

【佳作】

- 源氏名のままで佇む浄閑寺
 絵の中の桜わたしの名をつける
 通行人Aならとても上手いのに
 AIに「のび太」と名付けられました
 金色のけものになるの名を捨てて
 いずれ死ぬ金魚につけておくあだ名
 腰振りが上手い金魚のカメハメハ
 キラッキラの名前を鯉が食べている
 名簿からサンドバッグの音がする
 さよならの背中はいつても無記名で
 座りなさい名簿にはない子だけれど
 振り仮名のどんじり辺の五寸釘
 名はないが腸のあたりにある墓標
 本名を忘れてしまうハナミズキ
 木漏れ日の影が重さなる氏素性
 宮内庁御用達抽象名詞
- 佐賀県 真島久美子
 青森県 まきこ
 秋田県 斎藤泰子
 佐賀県 嵯峨山登
 秋田県 佐藤春子
 愛媛県 郷田みや
 愛知県 安藤なみ
 愛知県 中川喜代子
 佐賀県 真島 涼
 愛媛県 郷田みや
 秋田県 佐藤春子
 青森県 笹田隆志
 愛媛県 大西 進
 佐賀県 真島 芽
 秋田県 一 帆
 福岡県 もりともみち

- 花の名で天下をとりにいくつもり
 ここまでは名前ここからは 空
 名刺がわりにしてはいけない黒羊羹
 名古屋の関節音なのがよかった

【秀逸】

- 「膝枕膝劇団」を輪に結ぶ
 満月を三等分にする名前
 名と性の隙間の街の話です
- 愛媛県 吉原美佐
 青森県 笹田かなえ
 愛媛県 吉松澄子
 愛媛県 吉松澄子
 京都府 岩根彰子
 奈良県 ひとり静
 徳島県 徳長 怜

【特選】

- 本名は疲労骨折しちゃったの
- 青森県 守田啓子

【特選】指名手配されながらも、49年間逃亡していた桐島聡容疑者を想像した。内田洋と名乗り、周知から「うっちー」と呼ばれていた桐島。その「うっちー」が酔っ

選 評

払いながら、人生を振り返りながら、こんなことを呟きそうだなと思ってしまった【秀1】「名」と「性」の間に隙間があることの発見と、そこに「街」があるという物語性。

Sin

どんなエピソードが出てくるか、予想が途切れない【秀2】「名前」というと人の名前を想起しがちだが、物の名前だとすると【秀3】「膝枕劇団」ってなに？（笑）

【0番線「名」：投句者60名】嵯峨山登・金瀬達雄・斉尾くにこ・米山明日歌・岸井ふさゑ・吉松澄子・木村美映・佐藤春子・まみどり・熊谷冬鼓・田中薫・まきこ・渡邊こあき・大西進・笠嶋恵美子・斎藤泰子・青砥たかこ・みつ木もも花・芝峯島妙・大内せつ子・須藤しのすけ・もりともみち・葉閑女・青砥和子・中島順子・真島久美子・真島美智子・笹田

西沢葉火・上原稔・松木慎吾・中川喜代子・柳本恵子・吉原美佐・岩根彰子・田久保亜蘭・田中なお・守田啓子・坂本清乃・岡かんえもん・青野舞・旅男・宮井いずみ・高木まあこ・村上あつこ・夏草ふぶき・一帆・安藤なみ・立花真策・紙谷清・かなえ・真島涼・真島芽・滋野さち・徳長怜・鳴海賢治・四ツ屋いずみ・ひとり静・郷田みや・笹田隆志・河野潤々

カンテラ

むねこ

「ドクターランプ」や「ドラゴンボール」などのアニメで世界的に人気のあった漫画家・鳥山明さんが急性硬膜下血腫で3月1日に急逝しました。68歳でした。

その3日後、今度は「ちびまる子ちゃん」の主人公、まる子役を演じていた声優のTARAKOさんが亡くなりました。63歳でした。

ご冥福をお祈りいたします。

悟空やアラレちゃんやまる子たちにプーチンをやっつけてもらいたかった。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

葉関女さん、「スーツ」着用なのに「野火の匂い」だなんて、この「男」何だか怖いですね。「野火」は、『び【野火】早春に野山の枯れ草を焼く火。野焼きの火。』（広辞苑第七版）『や・か【野火】①野を焼く火のび。②野を飛ぶ怪火。』（広辞苑第七版）。この「男」、背中が野になっていて最近野焼きしたのかな？それとも、「野火」の中を抜けてきたのかな？

B群

寂しい人と共通のパスワード	三浦蒼鬼
たくわんの切れ端のよな人でした	米山明日歌
また誰か死ぬの？波打つ水平線	土田雅子
谷折りの谷でくしゃみが止まらない	熊谷冬鼓
やや折り目のあるズボンが語りだす	芝岡かんえもん
前ボタン取れてしまったよされ節	鳴海賢治
光らなくなった言葉を吊って	吉田州花
破調にしてしまうあの夜のうつり香	きさらぎ彼句吾
しばれた月が出るランゲルハンス島	小野五郎

小野五郎さん、「ランゲルハンス島」を知っています

A群

鼻の下でろーっと伸ばしている場合	吉田吹喜
治ったはずの傷がチクチク刺してくる	村上あつこ
春雨と土が何かを話してる	笹田隆志
鼻歌を連れて暴風雪が来る	夏草ふぶき
思い出を吐くには空が青すぎる	まきこ
仮病が上手くなって今日は鬱病	一帆
はらはらと金輪際がおちてくる	村上てる
缶蹴り繰り返し充電完了。	須藤しんのすけ
短かい鼻がボクですと象に言う	田久保亜蘭
母の娘は私で母は認知症	斎藤泰子
春の雨今夜は誰の吊い	吉見恵子
スーツより野火の匂いのする男	葉 閑女

したか。普通のひとは、外国のどこかの島の名前だと思ってるかも知れませんがね。「ランゲルハンス島」は、人間の体内にもあるんですよ。広辞苑に『脊椎動物の臍臓内に散在する内分泌腺組織。インスリン・グルカゴンなどを分泌。臍島。』と出ています。「しばれる」は、『(北海道・東北地方で)凍る。厳しく冷えこむ。』（広辞苑第七版）。それにしても、凄い光景。

C群

波打ち際で濡れた乳房を渡される	奈良一艘
女性専用車両 でぐる ぐる 山手線	柳本恵子
火曜だしローギアのまま渡ろうぜ	四ツ屋いずみ
の、あとには春泥にまみれたガラホ	守田啓子

奈良一艘さん、あの…、また、こんなことをしているんですか。でも、「渡される」でよかったです。一艘さんだったら「奪い取る」でも何の不思議もないものね…(笑)ところで、「波打ち際で」って、泳いでるの？まだ早春じゃね？

柳本恵子さんは関西の方なのに「山手線」を「ぐる

ぐる」しているんですか。「山手(やまのて)線」は、東京都心を一周するJR東日本の路線で、駅が30あって、一周するのに1時間くらいかかるんですね。えっと、読者の皆さん！ここで発表があります。JR東日本の「山手線」には「女性専用車両」はありませんのでご注意くださいということで、この句は実感句ではなく、創造の賜なんですね(笑)一瞬、実感句だと思っていました。で、この句、1字開けを3回も使っていて何とも斬新な姿をしています。なかはらしいこさんの「ビル、がく、ずれて、ゆくな、ん、てきれ、いき、れ」(「WEARE」第3号2001年12月)をふと思い出しました。

四ツ屋いずみさん、「ローギア」って、手動変速機(マニュアルトランスミッション/以後MTと書きます)の車に乗っているんですか？私なんかオートマにしてからもう数十年です。で、調べたら今も各メーカーからMT車が発売されているんですね。知らなかった(汗)この句を読んで、いずみさんは何を渡ろうとしているんだろうと思ひ、それが分からないので何となくスッキリしませんでした。ということ、このコー

ナーに取り上げるのを止そうと思ったのですが、あれ？いずみさん、「火曜」を「渡ろう」としているんじゃない？と思つて、おもしろいね、拾おう！となった次第です(笑)「ローギア」って、チカラあるもんね！

守田啓子さん、この、いきなりの「の」は何ですか。「の」の前を省略しちゃったら読者は困ってしまうんじゃないですか。それと、なんで「ガラホ」が「春泥にまみれた」んですか。「ガラホ」はKDDI(au)が「ガラケー」+「スマホ」を略して作った言葉で、実は私のケータイはガラケーに見えますが「ガラホ」です。「ガラホ」の「ホ」の部分は使っていませんが…雪解けのぬかるみを歩いて「ガラホ」を落としてしまったのかな？そんな、何だか解らない変わった句だけど、その解らないところがおもしろくて取り上げてしまいました。簡単に解ればおもしろくないし、解らないとまたおもしろくない、よね…。

おかじょうき川柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅3月月間賞

本日の悪意がやれと言っている

芝岡かんえもん

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

メール来る雲が流れていく景色
納得の優先席の心地良さ
つた伸びる笑い飛ばそう何度でも
人生は苦くて甘いチョコレート
4分休符入れて長閑なミルクテイ

先月号のお気に入り
舞い上がった分だけ落ちていく途中 齋藤泰子
舞い上がったその何倍も落ちた、つてこと、あったよ
うな。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

お訣れに雪の線状降水帯
多様化を問われて右往左往する
期限過ぎたもやしもチョコも埋めましよう
探してるサウナハットの似合う人
また誰か死ぬの？波打つ水平線

先月号のお気に入り
楕円形おだてに乗ってしまったわ まみどり
楕円形には油断してしまいますね！

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

どの面^{つら}下^かげて辛^かいと言うのですか
そこまでは利口^{りこう}であとは理屈^{りくつ}です
前ボタン取れてしまったよされ節
林檎^{りんご}は一個冗談^{じょうたん}ははんぶんこ
歩き方見るとめでたいおとこです

先月号のお気に入り
古ぼけたオルガンで聴^きくセラナーデ 葉閑女
私にとっての実感句でした。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

わたしからわたしが出ていったみたい
決心^{けっしん}をするためにある長廊^{ながろう}下
神さまがいそう^{いそう}で右へ迂回^{うかい}する
手を振り続ける離れてゆくものに
ひとときの夢^{ゆめ}を見ている四天王

先月号のお気に入り
化学的根拠^{けんこ}があつて風折れる 鳴海賢治
偏西風のせいだと知^しっているんですけれど、あの辺で
いつも折れて来る台風には文句^{ぶんこ}を言っています。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

地吹雪の見当^{みあた}違いな口説^{くはな}き方
疑問符^{ぎもんぷ}が吹きすさんでる活断
鼻歌^{びが}を連れて暴風雪^{ぼうふうせき}が来る
夢^{ゆめ}からも声^{こゑ}がかからず朝^{あさ}になる
生前葬^{せぜんそう} 終^はえて一気に飲むラムネ

先月号のお気に入り
目立たないように生きてても来る不運 齋藤泰子
不運^{ふうん}が幸運^{こうん}を倍にするんですよ。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

波打ち際^{なみうちぎは}で濡^ぬれた乳房^{ちちう}を渡^{わた}される
いま辛^かうじてブラジャーの留^{とど}め金
魂^{たま}が振り向きざまにギャーティギャーティ
白雪姫^{しらゆきひめ}をねぶる七人の小人
阿弥陀寺^{あみだてら}を抜^ぬけたらぬうつとオヒョいさん

先月号のお気に入り
鳥羽玉^{とりはたま}の真^まつ黒覚悟^{くろかくご}できてるね ひとり静
はいな。そりゃーもうとつくに…

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

東京は雪ツルツルとニュースの画
ペロペロとアイスの蓋^{かき}のリスペクト
新月^{しんげつ}に人を舐^なめようと出るお化け
おいしいと言^いわない君^{きみ}が皿舐^なめた
休日^{きゅうじつ}に毛^けづくろいしてくるネコ

先月号のお気に入り

まきん【まきん・青森県青森市】

思い出^{おも}いを吐^つくには空^{そら}が青^{あお}すぎる
窓^{まど}開^あけてけなげな顔^{かお}で嘘^{うそ}をつく
泣^なく笑^{わら}う鼻穴^{びやく}の位置^{ちゐ}確^たかめる
どこまでも私の歩幅^{ふく}保^{たも}ちます
檸檬^{れんご}ガリガリこれつきりだと分^わかつてる

先月号のお気に入り
泣^なけば済^すむものを集^あめて燃^もやしてる 米山明日歌
「燃^もやしてる」が好きでした。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

どちらかと言えばきらいに入りそう
そうだとはいえずに飛んでくる火の粉
鈍いのかとぼけてるのかわからない
白黒をつけたがるのは弱さゆえ
あいまいを貫き通すグラデーション

先月号のお気に入り
耳鳴りも白内障もおともだち
そうそう気の持ちよつです。 齋藤泰子

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

偽物が一番本物に近い
寂しい人と共通のパスワード
乾いた音が聴こえたら本当の春
いちにちがアニマルセラピーに溶ける
折り畳み式ベッドから老いていく

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

スタメンはわたし補欠がおおいぬ座
はみ出しているからきつと鷗だね
速達の料金としてアラビア語
起訴猶予だものポンカン夏みかん
ごぼうの笹搔きとつてもサスペンス

先月号のお気に入り
くちびるが あめ と動いて雨になる 徳長怜
アンニュイな女性の綺麗な唇の映像がうかぶ。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

酒たばこ飲んでたツケだ今の俺
ポケットのマグマ時々暴れ出す
何してた時間タツプリあつたのに
治ったはずの傷がチクチク刺してくる
断捨離もちよつと休んで旅に出る

先月号のお気に入り
煮つまったページ千枚漬けにする 宮井いずみ
いい考えですね！

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

言つてはならぬ場所に落し蓋
はらはらと金輪際がおちてくる
日だまりで老いの会話が花ざかり
朝起きて鏡の自分にカツを入れ
春光にタチタチ氷柱とけてゆく

先月号のお気に入り
金星は子を産んだこと銀杏の黄 吉見恵子
私は子供5人を産みました。金星ではないですがすべてに感謝を忘れず人生を送っています。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

友情のかたちゆらいでいる煙
雪煙をあげて時間が去つてゆく
の、あとには春泥にまみれたガラホ
茶をすすする急がず長居せずこの世
鍋焼きの蓋に相談してみよう

先月号のお気に入り
次郎柿男性名詞に入れておく 四ツ屋いずみ
井上用水路という男性名詞も知ってますが、どうですか？

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

くすぐられた順に咲いてゆくさくら
性善説ジャガイモの芽を取っている
女性専用車両 でぐる ぐる 山手線
咲かねばならぬ 桜さくらサクラ
嗚呼といひ嗚呼とさけんで飛び立つた

先月号のお気に入り
沈んでしまえばそりやあ静かな海 一帆
ふぶぶ 今日も一人で沈みます

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

清明、穀雨そうして夏が来てしまう
スーツより野火の匂いのする男
風止んで君の化身かベニシジミ
シヨパンにはサンドあなたには群青
酔い醒めの窓にぽつかり白い月

先月号のお気に入り
おはようと今日の課題が立ち上がる 齋藤泰子
もう少しのんびり暮らしたいのにな。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

光らなくなった言葉を弔って
水玉のコップそこから退きなさい
暖冬のかくも働きたい背中
百ワット灯し淋しくないはずよ
梅干しで言葉足らずの朝の刻

先月号のお気に入り
寝たきりになったあなたを独り占め 夏草ふぶき
それがこの世の法則でしょうか

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

かつんかつん 貴方の部屋へ向かう夜
正直に言うわよホント馬鹿なのよ
ほらここで許すオンナよ私って
鼻の下でろーっと伸ばしている場合
カサカサと笑い始めるエコバッグ

先月号のお気に入り
ばあちゃんが杖でつついて降らす雨 峯裕見子
すっごく好きです。面白いです。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

あきらめてかき揚げくずす夕まぐれ
ささくれた言葉を剥がす夜明け前
たくわんの切れ端のよな人でした
そして今一輪挿しになった疵
しょうがないマルクス主義のドアだから

先月号のお気に入り
くちびる寄せる海岸線を重ね合い きさらぎ彼句吾
「海岸線を重ね合い」にやられてしまいました。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

どう見ても青い代車は蛙顔
種なしの苺ができあがる気配
冷凍の海から届く海老フライ
夢うつつ熊のよだれは肉の味
腕枕にはかなわなない膝枕

先月号のお気に入り
打ち明けはサマルカンドの古書店で 四ツ屋いずみ
旅の終わり、サマルカンドで食べたスモークサーモンを
想い出しました。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

三寒四温の角を曲がれば花野
研ぎ澄ますシヨコラテイエのチョコ小さすぎ
春の雨今夜は誰の弔いか
シチュー鍋ときどき吹雪スパイスに
ゆつくりと温泉玉子春を待つ

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

蜃気楼いいえ麗しの島です
火曜だしローギアのまま渡ろうぜ
偽善顔で攻めてこないでエルニーニョ
雪道とかかと痛との深い仲
ランキユラスと3回唱え春を呼ぶ

先月号のお気に入り

帆【いちほ・秋田県秋田市】

頑張ればいいのかお臍笑つちやう
老人性だるま落としは真つ最中
仮病が上手くなって今日は鬱病
噛み合わぬ言葉 二人にある余熱
懲りもせず積み木は箱に戻される

先月号のお気に入り
くちびる寄せる海岸線を重ね合い きさらぎ彼句吾
彼句吾さんの世界に陶醉

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

こんにやく芋&透明エレベーター
地下鉄の黄色い線がお友だち
マスターをあいだに日和見が走る
アニサキスへ持たす砂糖ひと掬い
カウンター死角に琵琶湖金隠し

先月号のお気に入り
くちびる寄せる海岸線を重ね合い きさらぎ彼句吾
ありえない事柄が愉快。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

天地創造第一日に春風
ベネツィアに世界最大の美少年
マネキンに触れないで下さいハグします
しばれた月が出るランゲルハンス島
記念日は平気で雪が降る見込み

先月号の
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

青垣の青柿を食むレディー・ガガ
哀愁も虚無も乾いた岩のトド
これからもATMのある岸辺
和の国の尖った奴の輪切りかな
他を喰らい神に喰われる それでいい

先月号の
お気に入り

銃口が白い鳥に向いている
逃げましょつ。 安藤なみ

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

破調にしてしまふあの夜のうつり香
きみとみた月を繙いても独り
追伸欄の白夜から目をそらす
春野口遊び口角蝶にする
寝待ち月しだけ桜の衣擦れと

先月号の
お気に入り

歩こうか錆びた線路の終わりまで
そう誘っておきたながら先に逝くなんて…
戎踊兵

木村美映【きむらびえい・青森県青森市】

本当のこと書きましたすみません
刀抜く前におのれを顧みよ
占い師おのが命日を悟る
血まみれの禪まむしの道三ぞ
とりあえず母より長く生きたいが

先月号の
お気に入り

本当のことだけ黒塗りにされる
バー券の収支決算書すらあれですもの、「黒くぬれ」って
歌つちやいますよね。 須藤しんのすけ

熊谷冬鼓【くまがいとこう・青森県青森市】

煮りんごを焦がす4月のエトセトラ
春だもの背びれ尾びれも動き出す
谷折りの谷でくしゃみやみが止まらない
背が縮む見切り発車だったかも
転び方跳ね方エイヤーつと呪文

先月号の
お気に入り

カサカサと落葉 プラスチックな心 吉見恵子
「プラスチックな心」の表現に惹かれた。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

母の娘は私で母は認知症
雪解けるあたりに佇っているあなた
天へ地へお礼申して愚のままに
転んで起きて転んで起きて起きている
花の苗植える自分を励ますように

先月号の
お気に入り

吹雪よ逢わねば言えぬ言葉 滋野さち
切迫感がすごい。四四六って不思議な感じ。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

何があっても私の味方太陽だ
焼き魚鯛の焦げ目に箸進む
踏み出そうゆるゆる軸足だとしても
草もちのはみ出しあんこ要注意
冬らしさ私らしさと健忘症

先月号の
お気に入り

嗟峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

無表情ときどき地球深く掘る
真実は買えぬ毛皮を脱ぐ少女
まるやかな横穴からのラプソディー
あとはチン道化師一個できあがり
船虫とにらめっこする裏事情

先月号の
お気に入り

本当のことだけ黒塗りにされる
本当のこと書きましたすみません 須藤しんのすけ

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

まんまんと夕陽の墜ちる地平線
あたたかな風を柩に吹きつける
春雨と土が何かを話してる
戦争を棺のなかに閉じ込める
地下壕で燃料棒が焦げている

先月号の
お気に入り

野心には毎日水をあげてます
ボクは毎日、野心をお猪口で汲んでます
米山明日歌

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

結婚は危険球から始まった
わたくしの夢をめぐれば流れ星
身体の中に願いがやけにたまってる
東京に弄られている真水なり
やや折り目のあるズボンが語りだす

先月号の
お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

嫌われた理由を友に聞けぬまま
友からはもう必要とされてない
友達に妹がいて嫉妬する
もう望めない友とのティータイム
言いたいことがあり穴を深く掘る

先月号の
お気に入り

その時はその時カーテン揺れている
母をショートステイに預けた。心配で、眠れぬ夜を過ごした。その時はその時だね。
熊谷冬鼓

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

午後のウルトラマンを開始します
桃色に執行猶予がついている
ああ、そちらの幸せは被害者です
毒舌がどくじえつになる歳に
いろいろと はじめまして さようなら

先月号の
お気に入り

女より先に死にたいシヤボン玉
これは男が選ばなければという使命だけで選んだ(笑)
須藤しんのすけ

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

缶蹴り繰り返し充電完了。
スナックのカラオケVを見て過ごす
心音が似ている退屈な世界
ゆずり合う母親たちの中間点
嫌い嫌い嫌い。パパなんか大嫌い♡

先月号の
お気に入り

夢の世は非のない明るい地平線
儂さと正義のバランスが素敵。中八が更なる不安定さを醸し出している。
田中薫

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

斬新な案が吹き矢の的になる
被害者も歪んだ過去を持つていた
人生は山あり谷も彩もある
藁しべと交換したいモノが無い
改札を出ればやさしい風が待つ

先月号の
お気に入り

家康の骨を私に移植する
三浦蒼鬼
凄じビックリする発想。ボクも権現さまになれるかな？

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

新品の脳が時々うるさくて
罪をどこに置き忘れてきたんだろう
不意の客閉経前のマグカップ
短かい鼻がボクですと象に言う
人間に近い方から首刈られ

先月号の
お気に入り

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

回るまわる 連獅子に花火が上がる
欲望の固まり都庁45階
嬉しくて満月にウインクしちゃう
風を編む絡んだままで日が沈む
観ているだけでいいんだただそれだけ

先月号の
お気に入り

コンセント抜けは静かになる暮らし
リセットしたいです。ゼロからの出発。
城後朱美

旅男【たびお・青森県五所川原市】

ちようちよのちゆうちよバッタのコンバット

通電ビビビ旧正月の年賀状

野糞する自民党には紙がない

口をパクパク民主の金魚鉢

トランプゲームババを引きジジを切る

野心には毎日水をあげてます
枯れないように気を配りましょう。喪失色気に獣の油を塗ったら効くでしょうか？
米山明日歌

むさし【むさし・青森県蓬田村】

あれが嫌だこれも嫌だと生きてきた

先っぽが焦げて剥がれたきた「闘志」

あなたのくれたチクワの穴が苦かった

モアイ像を1日2回持ち上げる

夕焼けの取説にある風の色

おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『島』

7/31 〆切

選者

真島久美子（佐賀県）

Sin（青森県）

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/>へアクセスし、「投句する」→「0番線」を選び、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

無人駅は自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれに対する簡単なコメントもお寄せください。

スマホやタブレットで投句する↓



深艘心理

八重歯抜く 一緒に昭和抜いてみる

芝岡かんえもん

(会員雑詠集 無人駅2月号より)

作者は横浜在中の川柳作家。生まれも育ちも横浜で、一貫校である慶應義塾幼稚舎→中等部→高等部→慶應義塾大学経済部へと進学。

基本的に慶應は男女共学ではあったのだが、ちょうど性目覚める辺りの、高校だけはなぜか男子校と女子校に別れていた。慶應生にありがちなカッコつけた軟派の生徒が多い中で彼の硬派ぶりはかなり目立っていた。通学の電車の中でイチヤツクカップルを「ケッ」と横睨みを効かせながら遠くから苦々しく見ているようなバンカラ系だったのだ。それがどうだ。大学へ進学してからというもの、同じ音楽系の部活に居た1年先輩の女性にあらうことか一目惚れをしてしまったのだ。いわゆる初恋というやつだ。

願いが叶ってやっと初デートに漕ぎ着けた日の事。まだ手も繋げず、2人がぎこちなく並んで伊勢佐木町を歩いていた時だ。ふと立ち止まった彼女が言った。「ねえキミ、今この人混みの歩道の真ん中で私にキスできる？」ここで舐められたら一巻の終わりだし、何よりも勇気を試されていると考えた作者は、恥も外聞もなく彼女にむしゃぶりで

いていったのだ。そしてその夜作者は童貞の誠を彼女に捧げて真の男になったのだ。

ああ、あれから何十年経ったのだろう。あのキスの時ガチガチと彼女の歯にぶつかって「ウッフ可愛い！」と言われた八重歯も寄る年波でとうとう抜かねばならぬ事になった。これで私の昭和(青春時代)の記憶も消えちゃうんだなあ。と哀愁はしきりなのだが、うーむ。思い出は思い出としてキレイなまま胸の中に取っておこう。そして、その大事な青春の想いを川柳という5・7・5の詩に書こう、と決心した果ての掲句なのだ。

どーだ。裏金問題だの能登半島の地震だ、世界各地の紛争だのと、この暗い世の中で美しい一編のラブストーリーではないか。

あの一、本人の名誉の為に言っておくが、これはもうすぐ77歳になる一艘というヂヂイによるムチャクチャなる妄想のコーナーであるという事を一言申し添えておきたい。

音でしよう

おかじょうき川柳社

3月例会句会

3月2日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(15名)

守田啓子・木村美映・葉閑女・きさらぎ彼句吾・須藤しんのすけ・渡邊こあき・田中薫・原口健二・笹田隆志・むさし・熊谷冬鼓・奈良一艘・夏草ふぶき・Sin・小野五郎

▼投句者(19名)

安藤なみ・嵯峨山登・吉松澄子・岩根彰子・米山明日歌・柳本恵子・芝岡かんえもん・旅男・城後朱美・郷田みや・宮井いずみ・坂本清乃・まきこ・村上あつこ・峯島妙・鳴海賢治・一帆・まみどり・斎藤泰子

席題『芽』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

一斉に薔薇が芽吹いている背中
 出る杭もブナの若芽も伸ばします
 純愛の発芽を摘んだ夜光虫
 部外者の助言は無用ブナ芽吹く
 自己嫌悪が芽吹く積雪0センチ
 花の芽ツンツン群青色の反抗期
 開花日を迷いつづける花芽たち
 芽生えたのはエゴ 思春期が始まる
 淡雪に応えて芽吹くクロッカス

むさし
 原口健二
 笹田隆志
 熊谷冬鼓
 S i n
 奈良一艘
 原口健二
 きさらぎ彼句吾
 葉 閑女

春かなと頭もたげるふきのとう

葉 閑女

ビッグマックペロリ梅が咲く時間

須藤しんのすけ

踏まれるぞまだでてくるな若い芽よ

渡邊こあき

隔たりを埋める小鉢の木の芽和え

熊谷冬鼓

ウラル山脈から芽が出て困ってる

小野五郎

発芽する位置で二人で読む誓詞

きさらぎ彼句吾

【秀逸】

かゆくなる木の芽恋の芽花粉どき
 僕はただ色どりだけのスプラウト
 あの人を信じてみよう木の芽和え

木村美映
 木村美映
 奈良一艘

【特選】

公金なのか新芽なのか分らない

小野五郎

※公金と新芽の扱い方が見事！

席題『芽』

青森県青森市 木村美映選

【佳作】

そうですね春の芽吹きに似た最期
 発芽する位置で二人で読む誓詞
 隔たりを埋める小鉢の木の芽和え
 あの人を信じてみよう木の芽和え
 公金なのか新芽なのか分らない
 欲望の種に暗示をかけている
 自己嫌悪が芽吹く積雪0センチ
 風景を追い越していく新芽たち
 純愛の発芽を摘んだ夜光虫

守田啓子
 きさらぎ彼句吾
 熊谷冬鼓
 奈良一艘
 小野五郎
 S i n
 S i n
 夏草ふぶき
 笹田隆志

宿題『クイズ』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

水平線を二つに折れば何になる
くるくると白湯の奥底君が答え
君からのなぞなぞとけぬ二月尽
むちやぶりをものまねで解くクイズです
クロスワードやめて草餅などいかが
間違ひ探し7つ目はどれだろう
注文が多くて神になれませぬ
朧月混ぜるとできるものな一に
しりとりもクイズもみんなナルシスト
想い出にしようとしたのは何でしょう
脳トレに操られ女郎蜘蛛になる
ラストアンサー溜め息の出るクイズ
何故何故と聞くことばかり隙間風
答なら鳩に預けておきました
時雨で塗り潰すクイズのような背

むさし
田中 薫
柳本恵子
笹田隆志
葉 閑女
村上あつこ
葉 閑女
宮井いずみ
まみどり
夏草ふぶき
田中 薫
城後朱美
米山明日歌
郷田みや
岩根彰子

下手人がこの中にいる洛中洛外図

ゆるやかな問題一つ渡された

10問中5問答えてからは雨

クイズって言うけどむしろ春キャベツ

なぞなぞの奥に立つてるおばあさん

【五客】

イエスばかり言つては深い穴の中
母さんのクイズ裏漉してごつくん
過去問の指紋べったり春の雪
早押しで答えてしまう下心
伏せ字からあなたの思い匂い立つ

【人位】

蝋燭の灯が消えた時わかります

【地位】

2-1-1 静かで暗い海である

【天位】

わたくしの何を許した音でしょう

① ゆるす時発する音があるですね。せ
せらぎの音でしょうか、そよ風の音で
しょうか。

小野五郎
坂本清乃
熊谷冬鼓
吉松澄子
むさし
まきこ
岩根彰子
熊谷冬鼓
夏草ふぶき
葉 閑女
奈良一艘
守田啓子
米山明日歌

宿題『素』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

そもそもが戦争というヒトゴロシ
素人であるべし冬を越えたなら
春うららフリルが素敵とか言つて
情熱は無いかもしれぬ素手素足
ハリマオは素人のまま朽ちちゃった
微糖派と素足で踊るフラメンコ
素読なら四書五経でもへっちゃらよ
一目一目編み上げる素の時間
細胞の言いたいことに塗る緑
パーフェクトゲームに混ぜておく素数
手触りは元素八十三番目
素足つてとても遠くて温かい
素人のような青いに吸い込まれ
素人です関ヶ原から脱けます
非通知の電話酸素を薄くする

奈良一艘
木村美映
吉松澄子
まみどり
笹田隆志
一 帆
葉 閑女
柳本恵子
須藤しのすけ
郷田みや
安藤なみ
郷田みや
芝岡かんえもん
小野五郎
熊谷冬鼓

素直ならじゃぶじゃぶ洗い干しました

脳みそはほぼ素うどんでできてます

素因数分解をくりかえしているバナナ

素っぴんの私が紛れ込む夕焼

北風はなんの素振りも見せません

【五客】

「モノリザの素揚げ」只今2割引
ルビふると素敵に見える蟹気楼
さびしくはないが太腿が痒い
たまごかけご飯叱つてほしい日の
何気なし素麺ちゆるるパワハラちゆるる

【人位】

鏡から帰つてこれぬ素顔です

【地位】

笑わない素数着ているようなヒト

【天位】

素麺のかどであなたを黙らせる

① 仕立て方はいたってシンプルだが、「素
麺のかど」と「笑わない素数」との表現
の比較だった。甲乙つけがたい。

まきこ
嵯峨山登
奈良一艘
夏草ふぶき
鳴海賢治
むさし
郷田みや
岩根彰子
守田啓子
旅 男
米山明日歌
峯島 妙
峯島 妙

宿題 『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

地下茎を探れば系譜煮えたぎる	坂本清乃
食卓があるから家族だったころ	米山明日歌
熱量の九百ヘクトパスカルの怒り	峯島 妙
過去形にしたらぼつんと一戸建て	まみどり
吹雪の夜の窓を叩いて行くムンク	むさし
猫背です雲形定規がイヤになる	熊谷冬鼓
苦節十年肉じゃがらしくなってきた	峯島 妙
手招きが下手で花卉をまき散らす	夏草ふぶき
傷だらけなのにヨイシヨを続けてる	まきこ
雨の名とビヤホールの読み物と	岩根彰子
エビの尾は食べる派なのでよろしくね	吉松澄子
お神楽的な朝の目覚めはモーツァルト	笹田隆志
ブギウギの腰つき45分前	岩根彰子
春昼はスイートポテト共和国	宮井いずみ
正三角形の素っぴんを見せしめよう	S i n

十和田たてがみ川柳会二月例会

○日時 2月17日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・

佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・

村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『牧場』

福田 芳記 選

【平抜き】

草を食み大地を寝床牛いいな	斉藤 蛙井
澄み切った牧場に響くホルンの音	佐藤まさあき
売られゆく牛啼く牧場秋の風	佐藤まさあき
畜産家その下積みに握る汗	木村奈生美
牧場の牛を見ながらバーベキュー	高田 幸柳
牧場で心の酸素補給する	木村奈生美
エサ高くこの春牧場一つ消え	木村奈生美
牧場の隅で苔むす蒼前碑	瀧尻 善英

カウンターパンチ二本を持参する

一日一回トナリの熱を感知する

幸せな人とは会釈だけにする

タンポポに見られぬようにする続き

星空を見ている肉が焦げている

【五客】

金曜の手の平は星でいっぱい

こめかみの梅干し乾いたら春よ

首筋にひんやりあたるバーコード

ふしだらでごめんカモミールティーの湯気

金魚鉢を潜る税額控除表

【人位】

珈琲を淹れる小言は暗号に

【地位】

よく溶いて濾して私じゃなくなった

【天位】

出来立ての瘡蓋3月の愛情運

♪愛情運に恵まれる事を願って止みません。

安藤なみ	小野五郎	米山明日歌	柳本恵子	むさし	米山明日歌	きさらぎ彼句吾	小野五郎	守田啓子	笹田隆志	笹田隆志	斎藤泰子	S i n
------	------	-------	------	-----	-------	---------	------	------	------	------	------	-------

【秀逸】

放牧に春を嗅いでる寒立馬

牧場の期待を背負う競走馬

【特選】

固唾呑む今夜生まれる牧舎の灯

■席題 『牧場』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

よく稼ぎ牧場持ったバース殿	福田 芳記
かけ回る放牧中の子供達	高田 幸柳
放牧に春を嗅いでる寒立馬	佐藤まさあき
畜産家その下積みに握る汗	木村奈生美
牧場の牛を見ながらバーベキュー	高田 幸柳
エサ高くこの春牧場一つ消え	斉藤 蛙井
牧場で心の酸素補給する	木村奈生美
草を食み大地を寝床牛いいな	斉藤 蛙井
逆に夏案じてしまう寒立馬	村上 昌子
【秀逸】	
牧場をコースに入れる旅プラン	木村奈生美
牧場の牛に裏金聞いてみる	高田 幸柳

【特選】

澄み切った牧場に響くホルンの音

佐藤まさあき

■宿題 『ほれほれ』

高田 幸柳 選

【平抜き】

遅しく流れる汗にほれほれと
ナルシストお風呂上がり次男坊
初恋にほれほれ見てたお下げ髪
二十歳過ぎほれほれとする立ち姿
惚れ惚れと見て完食す箸捌き
高座からほれほれとする名人芸
島唄をほれほれ聞いて盃重ね
温かいケアにほれほれする弱者
足高くピンと伸ばした四股の所作
ドヤ顔がのぞくピカピカランドセル
異次元へ誘う阿修羅の細マツチョ
蕎麦打ちのハチマキ決まるお兄さん

白山 修治
城後 朱美
佐藤まさあき
白山 修治
磯島 雅男
佐藤まさあき
齊藤 蛙井
木村奈生美
福田 芳記
村上 昌子
村上 昌子
久保あざみ

【秀逸】

雲丹の棘まだ動いてる皿の上
生き方を背中で語る人が居る

瀧尻 善英
久保あざみ

【特選】

光り物外してママの顔になる

城後 朱美

■宿題 『ボロボロ』

互選

- ①ボロボロの派閥トップは言い逃れ
- ②思い切り泣くなら嬉し泣きがいい
- ②よれよれの服は着ても夢がある
- ③日常をボロボロにした能登の揺れ
- ③失言へボロボロ崩れ出す牙城
- ③ボロボロになるまでやった単語帳
- ④ボロボロの辞書とノートに染みた自負

磯島 雅男
村上 昌子
高田 幸柳
佐藤まさあき
瀧尻 善英
福田 芳記
木村奈生美

◆十和田たてがみ川柳会四月句会案内◆

【時】 4月20日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『港』村上昌子選／『実
る』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『みずくせい』
当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】一
題(三句詠・共選) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者か
ら一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72
高田幸柳宛

【特選】

夕焼けの落ち穂うっとりするミレー

瀧尻 善英

■宿題 『宝石』

木村奈生美 選

【平抜き】

原石がまああるいまんままだ寝てる
なれそめは宝石だった君の眼は
老いてなお原石削る時の刃で
ジュエリーが後ろで競う参観日
成金がこれ見よがしの指輪はめ
宝石を一つ持たせて嫁がせる
天命巡る宝石箱の骨
原石が転がっている入社式
自分の歯宝石だもの磨かなきゃ
すみません指が太くて箱の中
原石も怪我には勝てずただの石
磨くほど宝は光り品が出る

村上 昌子
齊藤 蛙井
磯島 雅男
瀧尻 善英
佐藤まさあき
城後 朱美
磯島 雅男
瀧尻 善英
福田 芳記
久保あざみ
高田 幸柳
白山 修治

【秀逸】

カラットで測るあなたの愛の量
お出かけは母の形見の指輪はめ

瀧尻 善英
佐藤まさあき

「チャレンジ川柳!
むさし流!」のブ
ログはこちら

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちら

川柳吟行会「ぽ」 課題『握る』

今回のお題『握る』で、自分で選をした時に色々考えて最後に外した句がみなさんに選ばれていました。

感想を読んでもみると私を感じたことのもう一步先の読みがあり、合評会に参加して他の方たちの考えを聞くことの大事さを再認識しました。

私事ですが、水曜が仕事の日なので合評会への参加が難しいのですが、今年はできるだけ時間を合わせて参加したいと思っています。

(夏草ふぶき)

【9点】特×2・佳×5

さよならの握力またねの握力 月波与生

【岩根彰子】どちらの握力が強いのだろう。イルージョ

かを感じる。【かなえ】喪主は経験がないが、心境を思うとすぐリアルで切ない。

【7点】特×2・佳×3

杖にぎるゼブラゾーンに雪が降る 吉田州花

【こあき】足が悪いと長い横断歩道を渡り切れないときがある。下5の雪が降るがいい。【文音】何も言っていないけれど杖を握ることで安心と信頼をえてゼブラゾーンを一抹の憂いと共に渡る情景が見えます。【いずみ】「杖にぎる」と「ゼブラゾーン」だけで、降雪期の高齢者の大変さが伝わってくる。【まあこ】ひとりゼブラゾーンを歩いている作者。寒さまで伝わってきます。【さち】杖とゼブラゾーンが響きあって切ない。

【6点】特×1・佳×4

言いつことを聞かぬピンクを握りしめ 柳本恵子

【まあこ】恋愛感情をピンクで表現 効果的に使っている。どうにもならないピンクを握りしめてるって素敵です。【吉見恵子】自分でも説明のつかない「ピンク」に魅せられたのですね。この後も色々ありそうです。【州花】このピンク桜色になるか、シヨッピングピンクになるか。

ンでは無いごく普通の光景が何故か切ない。【かなえ】握力」のルフレインが魅力的。手を握ったときの微妙な力加減の違いが伝わってくる。【柳本恵子】大切な人との絆を感じました。【こあき】どちらの握力が強いのでしょうか。【文音】握力のあつたかさが伝わります。【冬鼓】当事者しか理解できない微妙な感覚をうまく表現している。【さち】こんな微妙な違いを読み込める感性がすごい。

【8点】特×3・佳×2

喪主だった丸い小石を握っていた 吉田州花

【善江】一句にドラマがあります。【吉見恵子】場面が見えるようだ。「丸い小石」に語らせているが心理状況が伝わってきた。【さち】葬儀から日にちが経てみたら、ちいさな石が手の中に残っていた。と言う風に読んだのだが、丸いと書いた気持ち淋しく哀しい。【啓子】喪主と丸い小石。わかるようなわからないような。でも何

【こあき】言うことを聞かないピンクってなんかかわい。【五郎】読む者がキレのよいフレーズに掴まってしまう。

【5点】特×2・佳×1

ポケットは拳で充ちるシクラメン 小野善江

【州花】今、私はそんな状態。これから心配でもあり、楽しみでもあり。【五郎】ドラマチックなことが起きるのではないかと思わせる作り方。【彰子】シクラメンが微動だしなく心地よい。

【4点】×2

鍵ひらく佐藤初女の梅むすび 吉見恵子

【与生】句のオリジナリティでは群を抜いてました。握るで「佐藤初女」を持つてきたのが見事。むかし初女さんの「おにぎり教室」に参加したときお米とぎから始まり驚いたのを思い出しました。まさに今を「握る」経験でした。【隆志】あなたは森のイスキアに行ったことがありますか。いのちの鍵をひらくのが、初女さんの梅おむすびなんですよ。

【4点】特×1・佳×2

あなたの手 握って見たら雲でした 高木まあこ

【啓子】「雲」の意外性にドラマを感じる。明日はその手が雨や雪にでもなったらどうしよう。【吉見恵子】面白い発想です。何とも頼りない手だったのですね。【ふぶき】雲を掴むという言い方がありますが、手を繋いでも心は繋がない通じ合えない人なのでしょうか。

手にはまだ体温 春なんか来るな 宮井いずみ

【ふぶき】みんなが待ち望む春が受け入れられないほどの悲しさなのだろうか。見送ったばかりの人の温かな手を握ったまま。来るなという強い言い方が気持ちを表していますね。【冬鼓】別れの辛さを春なんか来るなと表現。独自性に惹かれた。【五郎】一字あけが絶妙。

【4点】佳×4

「青森県」という握り拳のかたち 笹田かなえ

【与生】「〜」の中はいわゆる動く言葉だが青森県を持つてきたのがとてもいい。「鍼の柄の部分」とかニュースで言うもんね。【善江】そういえば握りこぶしのような青森。大好きな青森県。【文音】弱者の思いが伝わって

ジョーカーを握ったままで日が暮れる 渡邊こあき

【柳本恵子】一人一人違うジョーカーをにぎりしめながら次の日も歩いていくってすごいです。【ふぶき】手放したいものが手放せないでいる戸惑いを感じ、ジョーカーって誰なのか何の例えなのか想像が膨らみます。

【2点】特×1

色絶筆を握って朝を起動する 笹田隆志

【朱美】一日の予定表をメモに書いて、母に伝えます。ハイキングのときは赤いマジックで。「色絶筆を」とあります。【色鉛筆を】ですよ？

【2点】佳×2

手を繋ぐ春ってこんなものかしら 月波与生

【州花】そうだと思います。【達雄】こんなものですね。ただ別れの春でもあって…。

きます。「」は不要と思いました。【隆志】青森県をいつも握り拳でみつめています。

【3点】特×1・佳×1

雪掴む狂ったははに見せにいく 岩根彰子

【達雄】私の母は緩和ケアでモルヒネを使っていたのでよくわかります。【柳本恵子】状況が目には浮かんでジーンとしました。

あの頃を握って飛ばう飛ばば飛ぶ 守田啓子

【冬鼓】あの頃とは作者の原点だろう。飛ぶを3度も使った下5の表現には自分を鼓舞する強い意志。【与生】「飛ばう飛ばば飛ぶ」の繰り返しねちっこさがウザくていい。あの頃もそうやって生きてきたんだろうね、きつと。

握り潰す 豆腐じゃない豆腐 熊谷冬鼓

【いずみ】握り潰された豆腐というメタファーで作者の心情が響いてくる。解を読者に預けた句。【彰子】豆腐じゃない豆腐は初見です。

【1点】佳×1

風船を握らせ母は居なくなり 城後朱美

父と母の秘密は握り潰しとく 守田啓子

手を握る ホワンと夢が落ちてくる 夏草ふぶき

時代劇の握り飯から銭が出る 福田文音

握ってる裏金全部出せホーホケキヨ 小野五郎

握ってはいけない人の手を握る 渡邊こあき

一つ二つ心配の芽を握りつぶす 柳本恵子

雪まるげふふふと握る春の種 笹田かなえ

春雷を一発握っている蕾 小野五郎

おかじょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかじょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

①「Google Chrome」でウェブサイトを閲覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているの「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用しているも、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます

□ 2024.04.21 青森県川柳連盟 第1回 あおもり春の川柳まつり

【日時】2024年4月21日(日) 12時受付/席題発表12時30分/投句締切13時30分/披講14時30分【会場】アウガ5F 研修室(青森駅前)【会費】1,000円(発表誌含む) *懇親会はありません【披講】司会:北山まみどり/文台:守田啓子・滋野さち【席題と選者】1題2句詠『 』2人選(選者は当日参加者に依頼)【宿題と選者】2句詠 *投句拝辞『輝く』碧井溪翠選/『ゆっくり』太田久選/『寺』高森ましら(俳人)選【第1回川柳まつり大賞】(2句詠)『自由吟(雑詠)』熊谷冬鼓・瀧尻善英・千鳥鉄男選*対象は3人による合点の1位【賞】☆各特選作品および川柳まつり大賞に呈賞★ユーモア賞(当日の入選全句より、高瀬霜石選で数句に呈賞。発表誌にて発表)【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山 Tel080-5574-9297

□ 2024.05.12 第27回金木桜まつり川柳大会

令和6年5月12日(日) 受付:午前10時 席題発表:午前10時30分 投句締切:午前11時30分 午後の部再開:12時30分 場所:金木公民館1階大ホール (TEL 0173-53-3581) 津軽鉄道金木駅より徒歩10分(約800メートル) ※津軽鉄道で来られる方はタクシーがございませんので、ご面倒でも大会の前日まで事務局へご一報を。駅と会場間の移動について対応の予定です。会費:4千円(昼食・懇親会・発表誌) 宿題(各題2句詠)「土」佐藤ぶんじ・山野茶花子共選 「成」福土慕情・菊池京共選 「吸」三浦蒼鬼・工藤まさひろ共選 「仮」むさし・太田久共選 席題(2句詠)「印象吟」大黒谷サチエ・千鳥鉄男共選 岸柳杯(2句詠)「しょう」工藤りん子選 呈賞:宿・席題共 特選・準特選を顕彰 岸柳杯 特選・準特選を顕彰 主催:金木川柳の会 ※連絡・問合せ先(事務局) 090 (7334) 7297 (成田我楽)

句会、大会、誌上句会などの情報をお寄せください。

info@okajoki.com

※メール本文にベタ打ちでも構いません。

テキストデータで送っていただくと助かります。

■会費拝受【2月受付分】 ※太字は新会員

小野五郎・木村美映・原口健二 (以上青森市) / Sin (青森県) / 四ツ屋いずみ (北海道) / 峯島妙 (大阪府)

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆3月10日放送された情熱大陸は、若きピアニスト亀井聖矢さんの密着だった。超絶技巧を駆使して難曲を弾きこなし、様々なコンクールで優勝してきた彼がいま取り組んでいるのが「ショパン」だという。ショパンといえば、CMやドラマ・映画など様々な場面で使用されることの多い作曲家で、クラシックを知らない人でも、聞いたことのある曲が多い。技巧的にも多くの人が弾ける曲でもある。ただ、彼曰く『ショパンを弾くことが「苦手」なのだそう。誰にも弾けないような技巧曲を弾いている彼がショパンのような曲が苦手というのは面白い◆私もギターでプロを目指したことがあるだけに同じような感覚は、同じレベルではないにしろ経験がある。中学生の時、ギターを始めた頃は「速弾き」といわれる、それこそ超絶技巧のギタリストに憧れて、どれだけ難しい曲が弾けるかが同世代の中のステイタスだった。だが、シンプルな

旋律はそれこそ技巧以外のテクニックが重要になる。曲の理解度と聞く人への伝達度、言うところの「表現力」である◆この放送を見ながら、川柳を始めた頃を思い出した。ギターを始めた時と同じように、それこそ奇抜で派手で映えるような作品ばかりに憧れて、そんな作品ばかり創作していたように思える。それこそ川柳のタブーというようになものばかりに挑戦していた。柳号を英字にしたのもその名残りである。いろいろな方面から反対されたが(笑)◆ここ数年は、私も超絶技巧の「リスト川柳」ではなく、誰にでも書けそうで書けない、そんな「ショパン川柳」と向き合うようにしているのだが、やはりどうしても強くなってしまっとうまいかない(汗) いっそ、「ベートーベン川柳」くらいにしてみようかと試行錯誤は続くのである。ただ、「リスト川柳」時代を経ることによって書ける「ショパン川柳」が必ずあると確信している◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.04.10 〆 「川柳吟行会 ぼ」4月句会

【投句締切】4月10日(第2水曜日)【題・投句数】『酒』2句【合評句会】4月17日(第3水曜日) 青森駅前アウガ5階で14時～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛



□ 2024.4.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(6月号分)

【締切】4月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】6/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.05.04 おかげょうき川柳社本社5月句会

【時】5月4日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】5月3日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『コピー』/『送』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『サービス』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.05.08 〆 「川柳吟行会 ぼ」5月句会

【投句締切】5月8日(第2水曜日)【題・投句数】『坂』2句【合評句会】5月15日(第3水曜日) 青森駅前アウガ5階で14:00～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛





川柳ステーション

2024年4月10日発行(年12回発行) 第29巻4号通巻361号
 ●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●E-Mail:info@okajoki.com

トークイベント

「川柳しか勝たん！」



暮田 真名さん

暮田真名(くれだまな)プロフィール
 1997年9月20日生。西東京市出身。
 「川柳句会こんとん」主宰。歌人の大橋
 なぎ咲さんとのユニット「砕氷船」『当
 たり』。著書に句集「ふりよの星」、「宇
 宙人のためのせんりゅう入門」など。

特別選(2句詠・事前投句:6/28(金)♫・欠席投句拝辞)

「星」暮田真名 選



宿題(2句詠・二人共選)

「外」 くんじろう(大阪府) 共選
 きさらぎ彼句吾(青森県)

「混」 米山明日歌(静岡県) 共選
 奈良一艘(青森県)

2024.7.6(土) 14時~ (受付開始: 13:30)

■場所: リンクモア平安閣市民ホール1階 (JR青森駅東口より徒歩3分)
 (TEL.017-722-3770 / 青森県青森市柳川1丁目2-14)

■会費: 5,000円(句会・懇親会費込)